# 第3回 「資料の収集」

## 文献検索（図書館の利用）

実際に図書館へ行って、図書館の利用について説明を受けます。

- 兵庫大学図書館：http://media.hyogo-dai.ac.jp/lib/
- 兵庫大学 OPAC（オンライン蔵書目録）：http://harmonis.lib.hyogo-dai.ac.jp/mylimedio/

### 大学図書館のサービスの利用

- 資料の貸出
- レファレンス・サービス（「調べもの、探しもの、お手伝いします」）
- コピー・サービス
- 他大学の図書館などの利用
  - 閲覧：他大学の図書館を利用できるように「閲覧依頼書」を発行
  - 複写：文献のコピーを取り寄せる
  - 借用：文献そのものを借りる
- 購入リクエスト

## ノートテイキング（ノートの作り方）【復習】

- 授業内容を再現できるように：板書をそのまま写すのではなくポイントを押さえる
- キーワードや要点を逃さない：一言一句書き取っていては聞き逃す
- 授業内容を立体的にとらえる：記号や矢印、イラストなどをうまく使う
- 余白を多くつくって活用する：追加情報を記入する場所をあらかじめ用意しておく

## ノートテイキング（ノートの作り方）【応用編】

**ノートを作る**（≠書く、取る）ときに、目的や状況に合わせて、どのような工夫をすればよいでしょうか。また、ノートを作るときに使う**文房具**の利用についても考えてみましょう。

### ノートの取り方のポイント

ある「優れたノートの作り方の例」を参考にして、役に立つノートの特徴や作り方のポイントを整理してみましょう。

例えば、インプット型・アウトプット型の授業でのポイントは、次のようになります。

- インプット（知識説明）型授業
  - 復習を重視し、キーワードや要約を書く余白をあらかじめ作る（例：コーネル大学式ノート）
- アウトプット（問題演習）型授業
  - 予習を重視し、自分の考えや調べたことと模範解答を比べられるようにする

> ノートを活用するためには、**定期的にノートを読み返す**ことが重要です。ただし、授業の後や試験の前にノートを清書するのは、二度手間です。授業の直前や授業後しばらく（数週間程度）して読み返して、授業を思い出せるように、**丁寧に書く**ことをおススメします。

### ノートをとるときに役立つ文房具

- 筆記用具
  - 蛍光ペン：キーワードを中心に、コピーしても写らない

- ボールペン：速記に便利、3色ボールペン（色で重要度や情報の意味を使い分ける）
    - （例）赤…もっとも重要な箇所、青…まあ重要な箇所、緑…面白い・興味を抱いた箇所
    - （例）赤…重要な情報、青…疑問点（授業でわからないところ）、緑…そのほかの情報
- 付箋の活用
    - いろんな付箋：サイズ（大・中・小）、素材（紙、透明フィルム）
    - メモや情報の整理に：大きめの付箋に書く、あとで内容ごとにグループに整理する
    - 読書ときの目印：気に入ったフレーズに張る、疑問に思ったところに張る
- さまざまなフォーマットの市販ノート
    - 罫線に目盛りがあることで、字下げなど文字の配置がしやすい
    - 目盛りを使えば、フリーハンドでも図表やグラフの作成がしやすい
    - ページの分割がしやすい（例：コーレル大学式ノート）

## 今日からはじめる工夫を宣言

前回と今回のゼミを通じて、今日から実際に取り組んでみるノートテイキングの工夫を2つ宣言しましょう。

| | |
|---|---|
| 宣言(1) | |
| 宣言(2) | |

宣言した工夫がどのくらいできたか、また改善すべきところがあるか、次回説明してもらいます。

### 参考文献


- 太田あや「東大合格生のノートはかならず美しい」, 文藝春秋 (2008.09).
- 永田豊志「頭がよくなる「図解思考」の技術」, 中経出版 (2009.11).
- 齋藤孝「三色ボールペン情報活用術」（角川oneテーマ21 B-43）, 角川書店 (2003.06).
- 田村仁人「アタマが良くなる合格ノート術」, ディスカヴァー・トゥエンティワン (2007.04).
- 堀公俊, 加藤彰「ファシリテーション・グラフィック」, 日本経済新聞社 (2006.09).
- 学習技術研究会編著「知へのステップ 第3版」, くろしお出版 (2011.03)
- 南田勝也・矢田部圭介・山下玲子「ゼミで学ぶスタディスキル」, 北樹出版 (2011.04)


## 次回（5月2日）：「学習活動の基礎知識 (1)」

- 筆記用具を持ってくる
    - 色鉛筆、カラーペンなど
- 次回までの宿題
    - (1)実際に授業でノートを取るときに今回宣言した工夫をする
    - (2)実際の授業のノートを持ってくる（どの授業でもよい、どんな工夫をしたかを紹介）
    - (3)近所の図書館について調べておく（図書館の名前、場所、雰囲気、特徴など）
        - 図書館の名前、場所（おおかまに；「○○県○○市」程度）
        - 図書館の雰囲気、特徴、貸出冊数、利用の条件など